

香川県教育センター ニュース

平成29年3月

平成29年度施設開放利用希望の受付を行っています！

県内公立学校教職員の自主的研修や調査研究の場として、研修室を貸し出します。
まずは電話でお問い合わせください。

- 受付開始 平成29年3月1日（水）午前8時30分より
- 申込方法 電話にてお問い合わせください。※先着順になります。
総務課（087-813-0955）にて受付
仮予約成立後、使用申請書をメールまたはFAXで提出してください。
- 貸出日 平日及び土曜日の受付可能日に限ります。
- 貸出時間 9時～16時30分
- 対象施設 一般研修室
- 使用料等 無料（光熱費・空調費含む）
- 貸出機器 スクリーン、プロジェクター（パソコン持参のこと）
- 駐車場 約250台 駐車可能

詳しくは、香川県教育センターWebサイト → カリキュラムセンター → 施設開放ページへ

教育ライブラリー新着図書

平成29年2月に入荷した新着図書の紹介です。

- アクティブ・ラーニング 授業改革のマスターキー（明治図書出版）
- 六つの要素で読み解く！小学校アクティブ・ラーニングの授業のすべて（東洋館出版社）
- アクティブラーニングを成功させる学級づくり：「自ら学ぶ力」を着実に高める学習環境づくりとは（誠信書房）
- 教科横断的な資質・能力を育てる アクティブ・ラーニング 中学校（図書文化社）
- 未来を拓く資質・能力と新しい教育課程 ー求められる学びのカリキュラム・マネジメント（学事出版）
- 協同学習入門 ー基本の理解と51の工夫（ナカニシヤ出版）
- 協同学習がつくるアクティブ・ラーニング（明治図書出版）
- アクティブ・ラーニングの評価がわかる！（学陽書房）
- アクティブ・ラーニングでつくる 新しい社会科授業（学芸みらい社）
- アクティブ・ラーニングを位置づけた中学校社会科の授業プラン（明治図書出版）
- アクティブ・ラーニングを位置付けた中学校英語科の授業プラン（明治図書出版）
- 授業が変わる！英語教師のためのアクティブ・ラーニングガイドブック（明治図書出版）
- 事例解説 教育対象暴力 ー教育現場でのクレーム対応ー（ぎょうせい）
- これからの教育を語ろうじゃないか（図書文化社）

研究発表会を開催しました

平成29年2月17日、323名の参加を得て、盛会裏に研究発表会を終えることができました。関係の皆様にお礼申し上げます。

ここでは、発表と講演の概要、参加者の感想の一部を紹介します。当日発表した調査研究の内容については、香川県教育センターWebサイトにも掲載していますので、御活用ください。



発表1 「全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析」

学習状況調査の結果を分析し、成果や課題について報告しました。なかでも、質問紙調査結果のアクティブ・ラーニングに関わる項目における香川県の現状を伝えることで、授業改善の方向性や学校組織運営の改善について、提案しました。

- 本校の調査からも様々な課題（特に書く能力）が見つかったので、改善したい。質問紙では、メディアとの関わりで問題が出てきているので、家庭と連携して正しいメディアの利用を指導していきたい。（小学校教諭）



発表2 「協働的な学習におけるICTの活用に関する調査研究」（1年次報告）

協働的な学習における問題発見・解決のプロセスと効果が期待できるICTの活用との関連を明らかにすることで、授業改善の視点が得られると考え、協力学校の授業において事前検討段階から訪問し、児童生徒の姿を通してICTの活用の効果を把握しました。協力学校の事例を冊子にまとめ1年次の報告をしました。

- ICTを活用する時は、事前に活用効果と生徒目線での活用を検討する必要があることが分かった。まずは、事例を取り入れてみようと思う。（中学校教諭）



発表3 「アクティブ・ラーニングによる授業の質的転換に関する調査研究」（2年次報告）

本県の教育課題を踏まえ、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善について昨年度より調査研究を進めてきました。「主体的・対話的で深い学び」における児童生徒の姿と、その姿を引き出す教師の手立てについて、香川県教育センター協力学校の実践事例等をもとに分析・整理するとともに、授業改善のチェックポイントを検討し、研究成果報告書にまとめ、2年次の報告をしました。

- アクティブ・ラーニングの実践の方法を詳しく知ることができ参考になった。学校全体で取り組んでいきたい。（小学校教諭）
- 具体的な実践を交えての発表でよく分かった。アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善について具体的な手立てやチェックポイント等がまとめられており校内研修で使用したい。（中学校教諭）
- よくまとめられた資料を使い、体系的にも知ることができて良かった。PDCAサイクルの確立に向け、見通し・探究・振り返りを大切にしたいと思う。（高等学校教諭）



講演 「これからの時代に求められる授業づくり」－「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて－ 東京大学 高大接続研究開発センター 教授 白水 始 先生

これからの時代に求められる授業づくりについて、「主体的・対話的で深い学び」の実現と、その学びが生きる評価の在り方から、具体的な事例を通じた演習を交え、分かりやすくお話しくださいました。また、調査研究（ICTの活用、アクティブ・ラーニング）の発表についても、触れていただきました。



- 演習に取り組んでみると、他者との考えの共有の中で、「そういう考えもあるのか」という感覚が非常に新鮮だった。「分かった」という感覚は記憶にもつながると思うので、子供たちにもこの感覚を味わわせたい。（小学校教諭）
- よく理解できる内容で、頭の中が整理できた。何と言っても、教材研究が大切。子供たちの新たな問いに対して、どのような題材で、どう迫るか…、難しい。（中学校教諭）
- ワークショップも含めて、大変示唆に富んだお話をいただいた。学校に持ち帰って、職員と共有したいと思う。（高等学校教諭）